

平成28年度第2回東海市地域公共交通会議 会議録

- 会議の名称 平成28年度第2回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 平成28年10月21日（金）午後1時30分から午後3時まで
- 開催場所 東海市役所 302会議室（3階）
- 出席委員 近藤福一（会長）、渡邊元芳（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
勝田厚秀、藤田重記、大脇美一、清信裕、片桐眞砂子、上尾将文、
大里美栄子、片山雄介、伊知地知子、堀越正一、平木壽一、
山田浩、杉本忠久、守山睦、脇田英生、森田英二
- その他 山田継昭（名古屋鉄道株式会社）、稲野勝（知多つばめタクシー）、
冨田（愛知県知多建設事務所）、塚崎有里（愛知県振興部）
- 欠席委員 古田寛、齋藤信弥
- 事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任
- 傍聴者の数 2人
- 議題及び審議の概要
 - 1 開会のことば
 - 2 会長あいさつ

皆様、こんにちは。会長を仰せつかっております、東海市副市長の近藤でございます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、第2回東海市地域公共交通会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃は、市政各般に渡り格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、前回会議の中で報告させていただいた、75才以上の高齢者のらんらんバスの運賃無料化が、8月27日から実施され、9月末日までに多くの方にご利用いただきました。また、9月からは運転免許証を自主返納した75歳以上の方に対する支援事業としてタクシー料金助成券を新たに設け、従来の循環バス回数券と選択ができるようにし、こちらも大変好評を得ております。今後も一層の公共交通の利便性向上に努めてまいります。

終わりに、当交通会議の円滑な運営に対し、御協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

3 新任委員紹介

4 報告事項

(1) 前回の会議録の確認について及び

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2、資料3の説明

(委員)

利用者数が増えている一方で収入が減っているが、その経緯を教えてもらいたい。

(事務局)

利用者は順調に増えているが、75歳以上無料化を行うと公表して以降、高齢者の回数券の買い控えがあり回数券の売り上げ減少、収入の減少に繋がったと分析している。

(議長)

高齢者の利用が続くため、今後も収入の減少が予想される。また、ルート別の利用者数がわかるとよい。

(3) 高齢者循環バス利用促進事業について及び

(4) 高齢者向けアンケートについて

事務局による資料4、資料5の説明

(委員)

高齢者無料化の事業を利用して乗車した人数は、どのように把握したのか

(事務局)

らんらんバス運転席にカウンターを設置し、人数をカウントしている。

(委員)

アンケートの回答数が項目によって合わないが、どのようになっているのか

(事務局)

複数回答も可としているので、回答数と回答者数が異なっている。

(委員)

モビリティマネジメントのターゲット層と成り得るので、情報発信により自動車からの転換を促してもらいたい

(議長)

アンケートは今後も継続していくのか。

(事務局)

このアンケート結果だけではわからない事も多いので、詳しい調査を継続していく予定である。

(5) 高齢者運転免許自主返納推進事業について

事務局による資料6の説明

(委員)

以前の東海市地域公共交通会議にて提案させていただいたタクシー券を採用いただき、本当にありがとうございました。タクシーも公共交通の一翼を担うものであり、今後も安全輸送に努めてまいります。

(議長)

タクシー利用助成券は一度の乗車につき一枚利用でき、5枚綴りとなっているのか

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

タクシー券は家族でも利用できるのか。

(事務局)

本人の利用が原則であるが、家族の利用も認めている。

5 協議事項

(1) 東海市内の一般路線バスのダイヤ改正に係る書面協議について

事務局による資料7の説明

(委員)

今回の書面協議は必ずしも公共交通会議での必須協議事項ではないが、らんらんバスを運行する立場として、また利用者への周知徹底もあったので、書面協議を行ったものです。しかし、この時点において確定していなかった事案もありましたので、前回の会議にて報告がなく書面協議を行ったものもございません。全ての地域住民に説明することは不可能であり、書面協議やこの場でご承知をいただきましたかったということです。1便あたりの利用者が0.5人という

ことであり、経営上成り立たないので廃止としたものです。また廃止区間は、らんらんバスと重複している区間が多いため利用者への影響も少ないと考えている。また、今回廃止にする路線について、前回のダイヤ改正時においても利用者が非常に少なく減便し今回まで維持してきたが、利用状況が改善しなかったため、やむなく廃止をするものである。

議長による承認採決

(一同)

承認

(2) 東海市公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料8の説明

(委員)

車内広告掲載の際は、誰が掲示作業を行うのか。

(事務局)

運行終了後に知多バスまたは事務局職員が行っている。

(議長)

車内のどこに掲載するのか。

(事務局)

座席上部の掲載スペースに掲載している。

(会長)

回数券の購入枚数と掲載期間はどの程度か。

(事務局)

回数券2冊の購入で2ヶ月の掲載を予定している。

(会長)

東海市の財政上の規定に抵触しないか確認すること。

(委員)

広告作成は掲載希望者が作成するのか。

(事務局)

その通りである。

(委員)

他市は現金にて掲載料を徴収しているとのことだが、掲載料を回数券の購入

によるものとした経緯はどのようなものか。

(事務局)

バス利用に繋げるためであり、また、地元企業と一体となって利用促進を図るためである。

(委員)

掲載料に替えて回数券を購入することにより、業者の購入した回数券がチケットショップ等で換金・廉価販売され値崩れを起こすことも想定されるので、検討が必要ではないか。

(委員)

先日らんらんバスを利用した際に多くの方が乗車していたが、座席も立ち席も高齢者であり、席を譲る状況ではなかった。車内に握り棒はあるが身体を預ける場所がないため、握力の弱い高齢者にとっては利用がしづらいのではないかと感じた。高齢者の利用を増やすのであれば、車両に対する何らかの対策が必要ではないか。調査や利用促進も大切だが、最も必要なのは安全性である。

(事務局)

道路幅が広ければ中型バス車両といった選択肢もあるが、市販されている小型バス車両は現行の型しかないのが現状である。座席数は少ないが、車内の通路幅が広く車椅子利用がしやすい等のメリットもあるため、それらも含めて検討の必要があると考えている。

(議長)

利用者は増加しているが転倒事故等が起こる危険性もある。それが理由で利用者が離れてしまうのも残念なことである。

(委員)

車椅子利用や狭隘道路を走行できるという点で、コミュニティバスとして各地で現行車両が重宝されているが、東海市の実情として最適な車両であるかは検討する余地がある。

(事務局)

マイクロバスタイプの車両を購入した自治体からは、座席数は多いが高齢者の乗降に難があったとの声も聞いている。そういった中で現行車両を選択したという経緯がある。

(議長)

利用者の増加に伴って発生してきている課題であるので、便数を増やすことを検討していく必要があるのではないか。

議長による承認採決

(一同)

承認

(3) 平成29年度市のイベント時の循環バスの無料運行について

事務局による資料9の説明

(議長)

毎年同様のイベント時に実施しているのか。

(事務局)

例年同様である。

(委員)

特定の時間帯や便数にて実施するのか

(事務局)

イベント日には全ルート・全時間帯で無料としている。

議長による承認採決

(一同)

承認

(4) バス停移設について

事務局による資料10の説明

議長による承認採決

(一同)

承認

(5) バスの乗り方教室について

事務局による資料11の説明

議長による承認採決

(一同)

承認

6 その他

愛知県及び中部運輸支局による当日配布資料の説明

7 閉会のことば